

## 令和7年（2025年）の福徳岡ノ場の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。  
海上保安庁が1月から3月及び8月に実施した観測では、福徳岡ノ場の周辺で変色水が認められました。

### ○ 噴火警報・予報の状況、2025年の発表履歴

2025年中変更なし	噴火警報（周辺海域） 火山現象に関する海上警報（周辺海域警戒）
------------	------------------------------------

### ○ 2025年の活動概況

気象衛星ひまわりによる観測では、噴火は認められませんでした。  
海上保安庁が1月から3月及び8月に実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場の周辺で変色水が認められました。

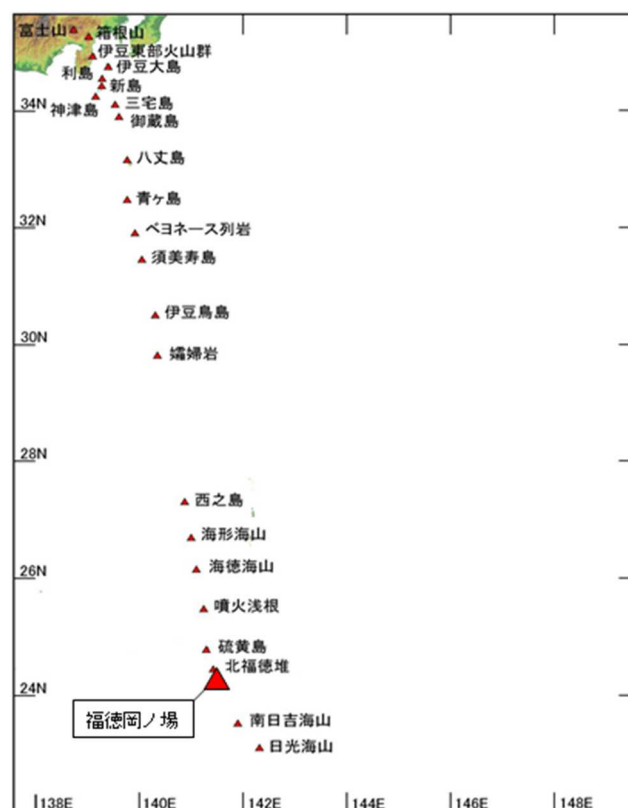


図1 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場  
地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、海上自衛隊、海上保安庁及び第三管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。



図2－1 福徳岡ノ場周辺の変色水の状況（海上保安庁提供）

- ・1月及び8月に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場周辺に薄い緑色の変色水が認められました。

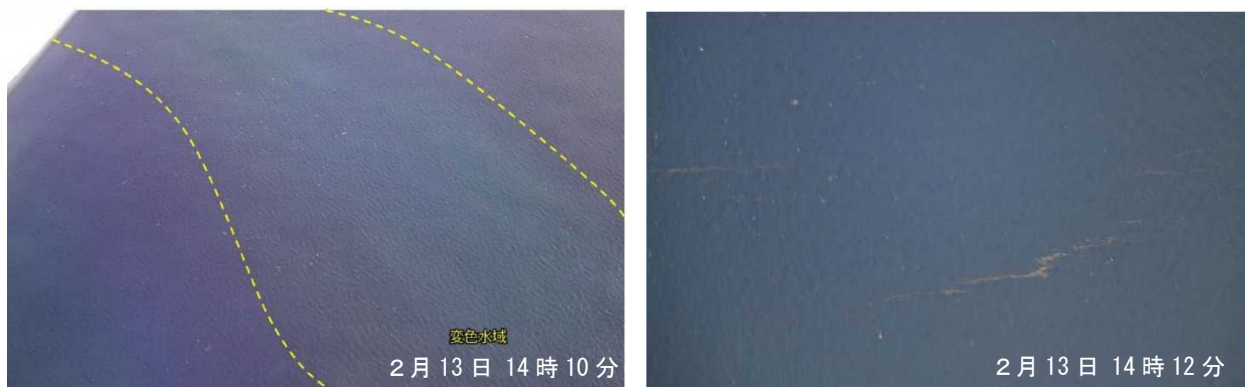


図2－2 福徳岡ノ場周辺の変色水及び浮遊物の状況（海上保安庁提供）

- ・2月に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場周辺に薄い緑色の変色水が認められました。また、少量ですが、広範囲に濃い灰色の浮遊物が認められました。浮遊物の出所は不明ですが、硫黄島の翁浜沖での噴火による噴出物である可能性があります。

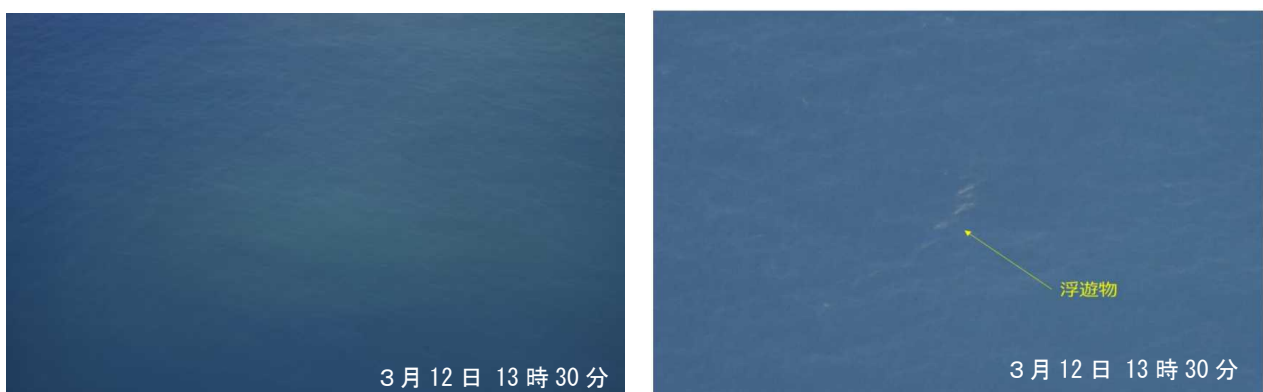


図2－3 福徳岡ノ場周辺の浮遊物の状況（海上保安庁提供）

- ・3月に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場周辺にやや濃い黄緑色の変色水及びごく少量の灰色の浮遊物が認められました。

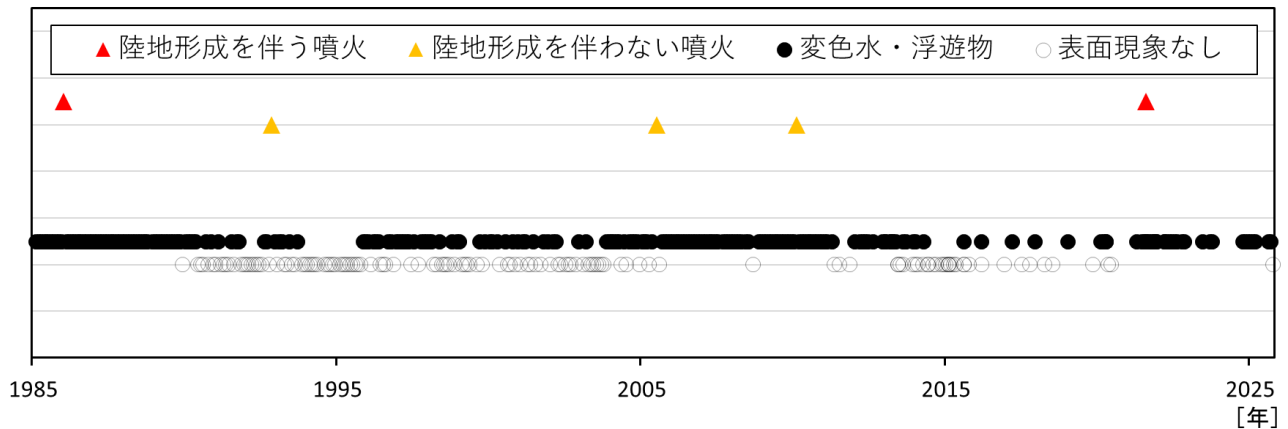


図3 福徳岡ノ場 1985年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水域や浮遊物が認められた観測、○は変色水域を含め特段の表面現象が認められなかった観測、▲は陸地形成を伴う噴火が認められた観測、▲は陸地形成を伴わない噴火が認められた観測を示します。

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊、気象庁、漁船及び報道機関等の観測による。

- ・1986年にも噴火が発生し、新島を形成しましたが、海面上に姿を現す顕著な噴火は1月18日～21日の数日でした。その後、同年3月26日には新島は消滅しています。
- ・2010年2月3日に小規模な海底噴火、浮遊物、変色水域が認められた後も、長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が断続的に認められていました。
- ・2021年8月13日に海底噴火が確認された福徳岡ノ場では、過去にも数年間隔で海底噴火が確認されています。発生する噴火には、陸地を形成するような規模の噴火と、陸地を形成しないそれよりも規模の小さな噴火があります。